



令和7（2025）年

6月 保育園だより

あいじ福祉会 黒部愛児保育園
TEL 52-4516

あいじ福祉会の理念

基本理念…乳幼児の最善の利益を図る

保育理念…人間性の優れた発芽と稔りを願う親の心を心とし、親の願いを願いとして、乳幼児ひとりひとりの生涯におよぶ幸せに寄与することを念願とする。

梅雨の時季になり、室内で遊ぶ機会が多くなりました。子ども達は“これ、おもしろそう” “やってみたいな” と様々な環境に自ら関わっています。そして遊びに夢中になり、遊び込むことで友達とのつながりを生み出し、他者と関わる力を育てています。

また、晴れ間には砂場で泥んこ遊びや、学び野でかたつむりや幼虫探しなど多くの発見をして、心を躍らせています。子ども達の“やってみたい”を引き出すよう環境構成の工夫をし、関わってまいります。



今月の行事予定



2(月)	フレンズタイム 歌に合わせて「あいうべ体操」や「足元気体操」 「ラジオ体操」をして健康増進と異年齢交流を図ります。	13(金)	交通指導 イングリッシュタイム 9:30～ ルーカス先生（4,5 歳児）
	交通指導 毎月1日、15日は年齢に 適した交通ルールを 学びます	15(日)	食ロス使い切りの日(30 日も) あいじ家庭の日(至 21 日)
3(火)	母子推進員 歯科指導 10:00～ (3,4,5 歳児) 母子推進員の方から歯の大切 さについて学びます	16(月)	フレンズタイム
5(木)	歯科健診 11:00～（全園児） 内科健診 15:00～（全園児） 健診日に欠席し受診できなかった場合は保護者さんと 園医へ行っていただくこととなっています。	20(金)	避難訓練
		23(月)	フレンズデイ 身体測定(至 27 日)
9(月)	フレンズタイム	25(水)	命ありがとう パパ・ママデイ 10:30～ 当月の誕生児をお祝いします。命ありがとうの日です。 ※主食はいりません。
10(火)	尿検査（3,4,5 歳児）		※感謝の日 3 園合同研修会 18:00～
11(水)	KUROBE アクアフェアリーズ 「夢プロジェクト」9:30～ (4,5 歳児)	26(木)	子育てサポーター シニアサロン 9:30～
12(木)	イングリッシュタイム 10:30～ (毎月第2木曜 4,5 歳児) ブライアン先生&りえ先生より 英会話スクールのフェイスブックのお知らせ 「New York 英会話 School」のフェイスブック とインスタをご覧ください。	27(金)	随時布団持ち帰り シーツや枕の洗濯、乾燥をして、次週持たせて下さい。 ＜7 月の予定＞ 4(金) 桜井高校生 保育体験(至 11 日) 12(土) 社会を明るくする運動 (5 歳児参加) AM あいじ家族まつり 17:00～19:00 ※保育は 16:30 までとなります。 ご協力をお願いします。 13(日) 第 24 回カラーレ草取りボランティア 7:00～8:00

保育・教育

あいじ福祉会では、富山県で定められた「毎月第3日曜日は家庭の日」とし、早寝、早起き、朝ご飯をスローガンとし、推進しています。早寝、早起き、朝ご飯を習慣づけることは、幼児期はもちろん大人にとっても健康維持に大きな影響を及ぼします。各年齢の取り組みをお伝えします。家族みんなで習慣化する工夫を続けていきましょう。



ひよこ組



りす組

お腹がすく、眠くなる感覚を子ども達が感じられるように生活しています。日中はたくさん体を動かす遊びを取り入れています。そして、昼寝では「今日、〇〇して楽しかったね」と午前中に遊んだことの話をしたり、ゆりかごの子守歌や「〇〇の歌がいい」という子どものリクエスト曲を歌ったりしています。また、「足強くなれ～」「いっぱい走ったね」等と足をマッサージすることで子ども達が安心して眠りにつくことができるようにしています。今後も子ども達がしっかり体を休められる環境を大切にしていきます。



2 歳児 うさぎ組

ままごとの中で「お家で（朝）パン食べてきた」「バナナ食べた」等と話しています。それに対して「パン食べてきたから元気なんだね。お外でもたくさん走れるね」「先生もおにぎりとヨーグルト食べてきたから元気いっぱい！」と伝えることで“朝ごはんを食べたら元気に遊べる”ことを伝えています。早寝早起き朝ごはんは心身の成長を促し、生活リズムを整えるための大切な習慣です。寝る前のルーティン（布団で会話、絵本を読む）や朝食には食べやすい一口おにぎりと果物を出す等をして、家庭でも無理のない範囲で意識して取り組んでいくことで習慣化されることを願っています。



3 歳児 いぬ組

最近、「今日、パンとスープ飲んできた」「ご飯と味噌汁飲んできた」と食べてきたものを教えてくれる子が増えてきました。しっかり食べてきたことにより、昼食までの午前中いっぱい元気に活動ができています。また、保育園のお昼寝では、子ども達の入眠後はカーテンを全開にし、太陽光を取り入れることで、自然な光で目覚めるようにしています。1 時間～1 時間半の眠りになるようにし、ご家庭で夜の深い眠りに繋がるように努めています。子ども達が元気いっぱい活動できるよう、この生活リズムを家庭と保育園と共に習慣付けていきましょう。



4 歳児 くま組

“早寝 早起き 朝ごはん”は、子どもの健康な成長と生活リズムの安定に不可欠です。園では、その取り組みの一つとして食育と連携し、子ども達が食に関心をもち、意欲的に食事に参加できるように関わっています。毎食時、調理師からその日のメニューや食材、マナーなどについて学んでいます。日々の学びの積み重ねにより子ども達は、いろいろなものを食べると体が強くなるということを理解しているようです。積極的に食べ、おかわりする姿に対し、「元気パワーが出てきたね」「足が強くなって、またお散歩に行けるね」「園庭で速く走れそう」など、楽しく食べられるような言葉がけをしています。今後も調理師と連携し、子ども達の健やかな成長を支えていきます。



5 歳児 らいおん組

幼児期から導入できるよう開発された“睡眠かるた”（富山大学名誉教授 神川康子氏）をしています。子ども達は寝ることで心身ともに健康に過ごせることを理解し、かるたをしながら「寝たら、いっぱい遊ぶ力が出るんだね」「今日、ゲームの時間ちょっとにしよう」などと話しています。また、昼寝の前に絵本「どうぶつたちがねむるとき」を見た時、動物の睡眠時間や眠り方について知ることができ、自分の眠る環境や睡眠時間にも関心をもつ機会となったようです。最近では「昨日、9 時くらいに寝たよ！」「昨日より早く寝ようって、お母さんと決めたよ」と子ども達はもちろん、保護者の方々も“早寝 早起き 朝ご飯”への意識がパワーアップしていることが伺えます。